

神戸市会 NEWS

VOL.36
2011.11月号

民主党神戸市会議員団

■編集・発行:民主党神戸市会議員団
〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161
ホームページ <http://www.kobe-minshu.jp>

「おーい」と呼んでください！ いつでも、どこへでもスグに駆けつけます。

須磨区のために真剣です。

神戸市会議員（須磨区） 神戸市 監査委員



大井としひろ

市民の皆様の身近な声をお聞かせください。

東北地方太平洋沖地震で被災されました皆様に謹んで心からお見舞い申し上げます。一刻も早く、この苦難を乗り越えて、復旧・復興されますことを心よりお祈り申し上げます。皆様、いつもお世話になります。いかがお過ごしでしょうか。今回は、須磨区民の皆様の身近な声をお聞かせいただいて、今後の活動に活かしていきたいと願っています。地域の身近な問題でも結構です。日ごろお感じのこと、ご意見、ご不満な点、ご提言などなど、なんでも結構ですので添付のハガキにて、ご意見等をお聞かせください。

監査委員会報告

今回の第3回定例市会では、監査委員の私は、決算特別委員会の委員には参画することができませんでしたので、今回は、議会報告として、監査委員として、平成22年度 神戸市一般会計及び特別会計 決算審査意見書並びに基金運用状況審査意見書等について報告をさせていただき、決算市会報告とさせていただきます。



ご意見をお聞かせください。

※最新の活動報告は「おーいブログ」でチェック!!

大井としひろ

検索



■大井としひろのTwitter（ツイッター）KOBE_SUMA_OOI

審査の方法

歳入歳出決算及び決算付附属書類が、法令に基づいて作成されているか、係数は正確であるか、会計処理及び財産の記録管理は適正かについて、会計管理者及び関係部局が所管する証書類と照合するとともに責任者に対する質問等の方法により審査しました。また、決算の状況について、各種資料を主として年度比較することにより分析しました。

審査意見（抜粋）

■ 財政の現状と行財政改革の継続

一般会計における当年度の実質収支は、7,671万円であり、平成11年度以降12年連続の黒字決算となったが、当年度も臨時の土地売却による財産収入が含まれており、極めて厳しい収支状況であると言わざるを得ない。

■ 未収債権の回収に向けた取り組みの継続等

■ 特別会計の財政健全化

収支不足等を一般会計繰入金に安易に依存することがないよう、資金面にも十分留意し、繰入の内容については、常に検証したうえで事業展開を図り、特別会計の財政状況健全化への努力を継続されるよう希望する。

■ 制度要望活動

当年度は、臨時財政対策債発行可能額の算出方法が見直された。その結果、本市の決算は、前年度比較で地方交付税収入が22億7,874万円減少し、臨時財政対策債発行収入は203億1,800万円増加した。その残高は、一般会計市債残高の2割を占めるに至った。償還時に国の財源措置が約束されているとはいえ、本市ひいては神戸市民の負債が増加することは、これまでの行財政改革により市債残高の削減を図ることで積み重ねてきた効果を損なう懸念がある。



当年度は、物品の架空発注事件に端を発して平成22年6月11日に策定された「事故の再発防止に向けた対策」に基づき、経理事務の適正化に向けて「新たな物品等の専決調達事務処理」等の取り組みに着手し、また有識者による「神戸市経理適正化外部検証委員会」による取り組みの検証や意見・提言の報告が、本年5月に行われたところである。平成22年度の財務定期監査では、「新たな物品等の専決調達事務処理」に基づく新たな事務処理ルールが徹底しきれていた事例が一部見受けられたが、引き続き対策を進められたい。また、経理事務にかかるわらず、コンプライアンス（法令順守）が公務執行の大前提であることが組織風土として定着し、市民への事業報告である決算への信頼が揺らぐことのないよう要望する。

※写真は監査委員として、交通局、建設局等の現地実地監査の大井としひろ



■ 皆様の身近な声をお聞きかせください ■

●記入日 年 月 日

（ふりがな）

●お名前

男・女

●ご住所（〒 - - - - - ）

●TEL

●FAX

●Eメールアドレス

●ご職業

●ご意見、ご要望を自由にお書きください。

▼ご記入後お手数ですが、FAX(078-743-6155)
或いは、郵送してください。